

青年部だより



(社)岡山ビルメンテナンス協会
(E-メール)
okbml@lime.ocn.ne.jp
(ホームページ)
http://www7.ocn.ne.jp/~okbml/

社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部広報委員会発行
住所 〒700-0985 岡山市厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル2F TEL 086-225-8660

JBMA青年部全国大会・ヒューマンフェア'03 (11月18日～21日連続開催) 横浜報告

第八回 青年部全国大会に参加して

青年部会 会長
新木 快哲

第八回ビルメンテナンス青年部全国大会が、平成十五年十一月二十日、二十一日と神奈川県のパシフィコ・横浜で三十三団体二六〇余名の参加のもと、盛大に開催されました。岡山青年部からは、正副部会長の三名が出席しました。

今回の大会は、「絆」(新時代を生き抜くために築こう若さのネットワークつかもう将来の夢)というテーマで開催されました。

大会に先立って、各県代表者会議が約一時間行われ、各地青年部の横のつながりを深めていくための話し合いが持たれました。また、この代表者会議が、今後どういった重要性のある会議にするかが議論され、結論には至らなかったものの、今年六月頃再度協議の場を持つ事となりました。

十三時より青年部全国大会が始まり、まず神奈川県青年部会杉村部会長が挨拶され、引き続き研修会に入りました。今回の研修会は、東海大学体育学部教授山下泰裕氏の講演と経営コンサルタント川西茂氏による全員参加型の研修会というスタイルでおこなわれました。山下講師の講演内容は、氏の体験談を通じて「人への思いやり」につき話され、氏の輝かしい実績に裏打ちされた感銘深いものでした。また、川西講師による全員参加型の研修会は、勝つことだけをとり決めて全員参加のゲームを行い、最終的に求められたのはゲームの勝者を当てるというもので、いろんな勝ち方があるという盲点を気づかされる内容でした。この事は、会社で置き換えると、最初にきちんとした説明がなされなければ、期待し

た結果と違う事になるかもしれないと気づかされるものでした。楽しく充実した研修会に参加出来た事、ご準備いただきました神奈川県青年部会の皆様へ感謝申し上げます。

青年部全国大会 懇親会の感想

青年部 副部会長
小川 亮人

今回の青年部全国大会は、ヒューマンフェアも含めてですが、都心部ならではの規模、演出であったと感じます。

横浜といえば、という事で料理は中華がふるまわれました。私は存じ上げなかったのですが、某局アナウンサーによる司会や各地名産品の抽選会(私は北海道産メイクインが当たって岡山まで段ボールで持って帰りました。かなり嬉しかったです)などバラエティに富んだ企画が用意されていました。

中でもメインとなる演出は「中国雑技団」による妙技で、終始歓声が上がっていました。私もその一人として感嘆申し上げましたが、芸もさることながら、これだけ大規模な演出の素晴らしさに驚きました。

会場となった「赤レンガ倉庫」と全国大会が行われた「パシフィコ横浜」は、それほど遠くなくランドマークタワーを始めとする高層建築物が立ち並ぶ商用地区です。もちろん表面上でしか判断できませんが、これらの建物は前にも、市場規模の想像はた易く、懇親会の演出にも納得できるような気がします。

ただし、コスト面だけでなく振り返ってみると神奈川県青年部の皆さんは、前回大分県で開催された全国大会で、全員にPR用のビラを配っていましたし、聞くところによると広報活動として代表的な県を訪問したそう

です。そして、懇親会自体の進行は開式までの待機時間が長かった事を除き、打ち合わせが綿密に行われていた事を窺われます。

何よりも圧倒されたのは人数でした。おそらく神奈川県青年部のメンバーだけで構成されていたと思いますが、バス下車後会場まで各所にスタッフが配備され会場内でも受付・クロークも同様です。関連して、次回開催の徳島青年部による阿波踊りパフォーマンスも行われました。

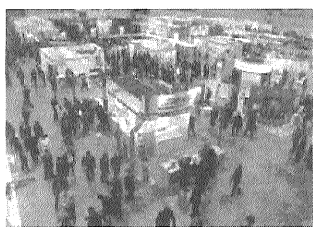
我々の業界は、以前から比較的年齢層が高いというのが一般的な見方でしょうし、社会的な地位も高くない、「若者離れ」する傾向にあったことは認識しておりましたが、今回の神奈川県青年部のスタッフや当日会場に集まった年齢層を見ると、こうした課題は改善されつつあるというのが正直な印象です。よく考えると我々岡山でも青年部会で見かける顔は若年化しつつあります。

青年部会員として、その活動に参加することは他の業者との接触であり、ある程度の人間性を要します。こうした環境に良いことは青年部や若手社員に対する各企業のご理解の賜物であり、その期待に応えられる人間になることが青年部会の意義であること、を自覚するということ、私にとっては非常に良い機会となりました。

ヒューマンフェア'03

青年部 副部会長
麻田 浩

「パシフィコ横浜」は美しい会場で、各企業のブースも華やかで、会場はさながらひとつの洗練された「街」のようであった。多くの人の「伝えよう」とする熱気が会場中に満ちあふれていた。心地よい雰囲気だった。歩いたりそこかしこに立ち止



「街」の様相を呈したヒューマンフェア会場

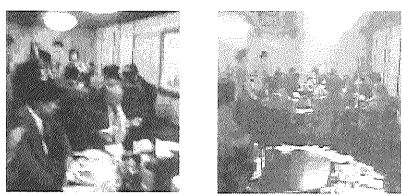
まったりしてはそれを堪能させていた。

「ビルクリーニング技能競技全国大会」に中国地区代表として出場した防長美装興業(株)の内山ユリさんもその日の表現者の一人として一生懸命自分を伝えようとして頑張った。われわれの代表としても立派だった彼女にみなさま心からの拍手をしてあげてください。



(写真：月刊ビルメン誌より)

青年部会新年会



①月23日花金の夕刻料理に酒にコンパニオンに至福の宴会でした

恒例の青年部会新年会が、平成十六年一月二十三日(金)十八時より、日本生命ビル八F「八仙閣」において開催されました。まず、新木部会長の挨拶があり、その後、全体会議報告事項として、星光ビル管理(株)の退会が報告され、続いて、二月二十四日(火)開催の青年部会研修会につき、「トラブルの起きやすい床材とその処理方法」のテーマと共に

労災収支改善に向けて

その内容につき、垣内企画研修委員長より説明がなされました。また、麻田副会長より、部会活動の活性化に向けて、教会ホームページにおける青年部会スペース拡充への取り組みについての提案がなされ、今後の取り組みとして、出席者の賛同が得られました。

**青年部会・部会員
募集**

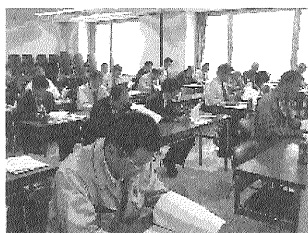
会費：月額5,000円



川崎講師による講演

いた川崎講師による「労災収支改善について」の講演と共に、事務局より、過去二年の会員か

らの事故報告集計につき説明され、類似事故の防止対策・季節要因による事故への予防対策が強く求められ、河合労働安全委員長による「安全大会宣言」が採択されて安全大会は閉幕となった。安全大会終了後、研修会として、「ビル管法改正変更点への行政の見解について」のテーマで、岡山県環境衛生課長補佐・原氏他岡山市倉敷市の担当官による講演が行われた。尚、平成十四年度ビルメンテナンス業都道府県別収支状況によると、岡山県においては、収支率168.3%で、全国ワースト七位(全国平均89.3%)。さらに、短期給付額の収納率に對する割合は、92.3%と、全国ワースト八位で、事故多発地区と言えます。



労働安全大会参加者

ならず転倒事故が多発しています。転倒事故の物的要因として、洗剤・ワックス・剥離材・水・濡れ落ち葉などの他にも、たくれたマット・水道メーターの蓋・等と、多岐に渡っています。また、十二月の事故報告には、死亡事故に繋がるようなガラスクリーニング作業中の転落事故も発生しました。基本に忠実な作業を心がけると共に、事故原因を点として捉えるのではなく、作業動線としての線で、また、類似作業を踏まえた面として捉えて、危険予知の目を養うと共に、それぞれの作業現場の実態に即して、きめ細かく物的危険要因の減少対策に努めて下さい。



全国労災改善推進協議会
地方労災改善推進協議会

